

被爆ピアノ平和コンサート in Yamagata 2023

私はきっと哀しい音がすると思います。誰よりも哀しい思い出があるから。
私は怒った音がするかもしれません。誰よりも怒りに震えたことがあるから。
私はきっと美しい音を出せるでしょう。いつの日か喜びの歌を奏でることを知っているから。
私は、平和の尊さを伝え続ける「被爆ピアノ」です。

1 “天空の被爆ピアノ”コンサート (被爆ピアノによるピアノソロ・連弾演奏)

- と き 2023年10月21日(土)
10:30開演(開場10:15)
- と ころ 霞城セントラル24階展望ロビー
- 内 容 ソロまたは連弾によるピアノ演奏
- 出 演 公募による演奏者の皆様
2023年学校平和コンサート演奏者

2 “平和のしらべ・祈りの声”コンサート (被爆ピアノと歌・器楽とのコラボレーション)

- と き 2023年10月28日(土)
14:00開演(開場13:30)
- と ころ 山形中央公民館ホール(az七日町)
- 内 容 独唱・重唱、合唱、器楽との合奏
- 出 演 公募による演奏者の皆様
シンガーソングライター 南壽あさ子さん
ほか ゲスト演奏者の皆様



両日とも入場は無料です

会場にて平和コンサート活動に
賛助いただければ幸いです。

【お問い合わせ】

〒990-8540 山形市旅籠町2-3-25 山形市広報課
TEL: 023-641-1212(内線228) FAX: 023-641-2535
e-mail: hibakupiano2018@gmail.com (実行委員会アドレス)



実行委員会Facebook



被爆ピアノのこと

昭和20年(1945年)8月6日、午前8時15分、アメリカ軍の原爆搭載機「B29エンラ・ゲイ号」が投下した原子爆弾(原爆)は、広島の上空580mで炸裂しました。爆発時の熱線と爆風が、一瞬のうちに広島をつつみ、爆心地周辺の地上の温度は、3000~4000度に達しました。半径約2Km内の建物は、爆風でほとんどがなぎ倒され、焼き尽くされました。多くの人々が命をおとしました。この中には、朝鮮、台湾や中国の人々、アメリカ兵捕虜も含まれていました。この本に登場する「ピアノ」は、当時、広島市内の千田町に住んでいたある少女の家で使われていたものです。爆心地からの距離は約1.8Km。この家も爆風で壊れ、焼け落ちてもおかしくない位置にあったといえますが、当時にはめずらしいコンクリートの頑丈な造りだったことや、家の向きなどが幸いしたのか、屋根が飛び、天井が落ちるなどの被害はあったものの、なぎ倒されることはまぬがれたのでした。ピアノも爆風で壁にたたきつけられ、傷だらけになりましたが、家がなんとかもちこたえたおかげで、こうして今に残ったのです。(絵本『ヒロシマのピアノ』文研出版刊より引用)

矢川光則さん(被爆ピアノ管理所有者・調律師)のこと

矢川さんは、広島市内でピアノ工房を主催し、ピアノ調律の仕事をしています。矢川さんが被爆ピアノに出会ったのは、平成17年(2005年)7月のことです。それまで、矢川さんは調律の仕事をするかたわら、壊れたり使われなくなったピアノを譲り受け、修理した後、ピアノのない施設に寄付したり、外国に送る『ピアノのリサイクル活動』をしていました。それは「資源を守ろう、物を大事にしよう」といわれているこの時代にもかかわらず、まだ使えるピアノが、持ち主の事情で捨てられていく姿を数多く見てきたからでした。この活動のなかで、被爆したピアノにめぐりあったのです。持ち主の女性からピアノの思い出話をきいたり、改めて戦争や原爆の事を調べるうちに、それまで平和運動に関わりがなかった矢川さんの心に、変化があらわれます。やがてそれは「被爆したピアノの音色を多くの人に聞いてもらう事で、平和を考えるきっかけづくりができないだろうか」という思いに到達します。この背景には、当時爆心地から約800mの場所で被爆したものの九死に一生を得て、戦後被爆者として生き、数年前に亡くなった矢川さんの父親の存在がありました。このピアノが工房にやってきたとき、矢川さんは子どもの頃に父親から聞いた被爆の体験談や、それを語るときの苦しそうな父親の表情がよみがえってきたといいます。「このピアノでコンサートを開こう。『被爆ピアノ平和コンサート』の輪は、今全国に広がっています。(絵本『ヒロシマのピアノ』文研出版刊より引用)

2003年広島市民表彰(市民賞)受賞、2006年日本善行賞(内閣府所管)受賞、2010年著書「海をわたる被爆ピアノ」(講談社)刊行、2012年国際文化交流奨励賞受賞、2015年広島県民文化奨励賞受賞、2017年ノーベル平和賞記念コンサート(ノルウェー・オスロ)に招聘、2019年谷本清平和賞(公益財団法人「ヒロシマ・ピース・センター」)、2020年自身がモデルの映画『おかあさんの被爆ピアノ』が公開。

平和コンサート演奏者

■公募による演奏者の皆様

■2023年学校平和コンサートピアノ演奏者 近藤阿由良さん、小林路子さん

■ゲスト演奏者 南壽あさ子さん(シンガーソングライター 出演:10月28日山形中央公民館ホール)



凛としかつ温かい。透明感あふれる唄声の、不思議な魅力を備えるピアノの弾き唄い。2013年メジャーデビュー。これまで「積水ハウスの歌」はじめ、数多くの TVCM の声に選ばれている。2016年にヤマハミュージックコミュニケーションズへ移籍。これまでに47都道府県ツアーを2度敢行。2019年にはフジロックフェスティバル、ニューヨーク・カーネギーホールに出演するほか、日米両プロデュース作品3rdアルバム『Neutral』を発表。グラミー賞を13回受賞しているエンジニア、ラファ・サーディナのプロデュースによるA面の表題曲「すみれになって」では、ハンガリー・ブダペスト管弦楽団とのレコーディングを行う。同年10月、NHK「みんなのうた」で放映されたポップな曲調の「鉄塔」が大きな話題となる。

映画『おかあさんの被爆ピアノ』(五藤利弘監督作品)に、戦争当時、ピアノの持ち主だった井原千恵子の回想役で出演。併せて映画主題歌「時の環」の作詞・作曲、歌唱を担当した。「被爆ピアノ平和コンサート in YAMAGATA」には、この映画主題歌が縁で昨年2020年から出演。「時の環」はじめその楽曲と演奏は、多くの聴衆の心をつかむ。

橘 光一さん(オルガニスト/キーボーディスト/ピアニスト 出演:10月28日山形中央公民館ホール)



洗足学園短期大学音楽科電子オルガン専攻、同大学音楽学部パイプオルガン科を首席で卒業。電子オルガンによる、オペラ、ミュージカル等の伴奏を始める一方、キーボーディスト、ピアニストとして様々な歌手やアーティストのバックバンドで活躍。NHK教育テレビ『あいうえお』をはじめ、東京国際フォーラムのオープニングコンサート、長野パラリンピックカウントダウンコンサート、『さとうきび畑コンサート』等多くのコンサートに出演。新国立劇場開場記念公演「現代舞踊パノラマ展」では自作自演で好評を博す。2005年には、世界吹奏楽大会WASBE2005シンガポールにソリストとして招待され出演。また、雑誌ピアノスタイル(リットーミュージック)では、アレンジャー及び模範演奏CDピアニストとしても活躍。

洗足学園音楽大学・大学院の講師を経て、2012年1月1日より南魚沼市在住。現在、南魚沼市の交流大使を務めるとともに、全国で数多くの演奏会に出演中。「被爆ピアノ平和コンサート in YAMAGATA」には、2018年より出演し、活動を力強く支えている。被爆ピアノで奏でられる多彩なジャンルの楽曲は、好評を博している。

山形センター合唱団(出演:10月28日山形中央公民館ホール)



1962年に創立した山形の合唱団。以来「うたごえは平和の力・生きる力」をスローガンに活動を続け、昨年60周年を迎えた。

2019年、天童市で開催された平和コンサートで被爆ピアノと共演して以降、2020年より被爆ピアノ平和コンサート in YAMAGATA には連続して出演。その平和の尊さを歌い上げる合唱には、他に類を見

ない力強さがあり、聴く者に強い共感と感銘を与えている。今年2023年、「平和の調べ・祈りの声」コンサート開催にあたり、実行委員会のオフィアに込め、被爆ピアノの伴奏を背景に、聴衆に平和のメッセージを熱く伝えるステージが実現する。